下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	木	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
2	金	★	★	★	●	●	●
5	月	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40	14:40
6	火	★	★	●	●	●	●
7	水	13:25	13:25	13:25	13:25 ※1	13:25	13:25
8	木	★	★	●	●	●	●
9	金	★	★	★	●	●	●
12	月	★	★	★	★	★	★
13	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
14	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
15	木	★	★	●	15:30	●	●
16	金	★	★	★	●	●	●
19	月	★	★	●	●	●	●
20	火	★	★	●	●	●	●
21	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
22	木	★	★	●	●	●	●
23	金	★	★	★	★	★	★

※1　４－１は　１４：５５下校

※2　４－１は　１４：０５下校

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

給食当番	14:05	★
掃除当番	14:30	

給食当番	14:50	●
掃除当番	15:05	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

オンラインの利用について

現在、ご家族がコロナに感染している場合、本人が感染したが、体調がよくご家庭で元気に過ごしている場合などにオンラインでの授業を行っています。リーバーにも、出席の欄にオンラインという選択肢があります。

オンラインで送ることができる授業は限定されます。また、現状としては、授業の様子を見ることができる程度なのが現状です。しかし、子ども達が少しでも、ご家庭にいる間も学習することができるようにと考え取り組んでいます。

オンラインで授業を希望される場合、リーバーでオンラインを選択してください。

登校時間についてのお願い

本校の登校時間は７：５５～８：０５です。５分前の７：５０には多くの児童が門の前で待っており、安全面から早く開門せざるを得なくなっています。開門前に学校に着いてしまっている児童は、あと１０分家を出る時間を遅くするとちょうどよいと思います。お子様と登校時間について確認ください。

学校だより　12月

荏子田小学校

令和4年11月30日

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/

月	火	水	木	金	土	日
			1 就学時健康診断	2 出前授業4・5・6年	3	4
5 読み聞かせ3・4年 芸術鑑賞教室 3・4年 リーダー会議 委員会	6 スクールカウンセラー来校　午後	7 横浜市一斉授業研究会	8 フレンドお楽しみ会	9 体力集会 出前授業　1年	10	11
12 児童朝会 出前授業　6年 SSW来校	13 クラブ	14 エコダキッズ会議 幼保小交流　1年	15 校外学習　4年	16 幼保小交流　１年	17	18
19 集会 スクールカウンセラー来校　午前	20 スクールカウンセラー来校　午後	21	22	23 朝会 給食終了	24	25
26 冬季休業 （～1月6日）	27	28	29	30	1	2

１月の主な予定

10日（火）	荏子田囃子鑑賞
11日（水）	給食開始
18日（水）	区一斉授業研究会
19日（木）	２年　校外学習
27日（金）	３年　クラブ見学

ペーパーレス化に向けての取組

今月からは、印刷物で配布する学校だよりは、行事予定と下校時刻だけを印刷したものにします。

従来載せていた各種のアンケートや記事などは、スクリレ版でご覧いただくようにしていきます。1月に入ってから、ペーパーレス化に関してのアンケートを実施します。その際にご意見をいただければと思います。

教室の中で

他人と話をすることによって、今まで自分で思いついていなかったことを思いついたり、それまで、ばらばらだった考えがまとまったりすることが良くあると思います。話をすることで、自分の中の思い付きや知識が整理され、再構築されていくのではないでしょうか。

学校での学習が、1人の学習よりも優れている点があるとすれば、その一つは、友達と話をし、考えをまとめたり、深めたりすることができる点にあると思います。一人で考えていても、なかなか、考えを深めることが難しいことが多くあるのですが、他人と話すことで、今まで結びつけることができなかったことを結びつけることができたりするのです。特に、学習は、テーマが絞られていますので、そのテーマについての思い付きを出し合い、それを話しながら整理していくことで、お互いの情報を関連付けることができるわけです。

授業では、共同で試行することで、それぞれ考えていることの共通点を見出したり、相違点を見出したりしていきます。そして、そこから、より良い考えを生み出していくわけです。もちろん、1人で考えることもとても大切です。自分がもっている情報を整理し、構築していくことができるのは素晴らしいことです。しかし、1人で考えているだけでは、思いつかなかったことを友達と話すことで思いつくことができるということも大切な経験だと考えています。

学校は、ある意味閉じられた空間です。そのことが、子ども達の思考の機会を増やしているともいえます。教室は、学習する場であるということがしっかり子どもたちには定着しています。そして、学校は、学習に集中できる場にすることを大切にしています。

学校は、家庭と違い、競合する様々な刺激が少ない場所です。「勉強するしかない」状況にあるわけです。これが、家庭だと違ってきます。ゲームができる環境があったり、YouTubeを見ることができる環境があったり、テレビを見ることができる環境があります。インターネットにつなげば、自由に様々な情報に接することができます。学校には、「自由」に自分の時間を使うことができる環境がありません。あくまで目的に沿ったことを進めるしかないのです。だから、学習をすることができるのだと言えるのかもしれません。しかし、学習を進める子で、子ども達は新しい経験をしたり、思考を深めていくことを経験したりしていきます。

もちろん、学習以外にも社会性を高めることも学校は重視しています。しかし、多くの時間を学習のために費やしているのが学校です。そして、その学習は、一人一人の考える力を高めるためのものでなければならないと思います。

今年も、この一か月で終わります。しっかりと子どもたちの力が高められていくことできているか、確かめながら学習を進めていきたいと思います。（青木　勇）

１１月のある風景から～金曜日はなぞなぞの日～

金曜日の下校時、

「先生！答えわかったー！」と近づいてきて、小さい声で答えます。

「正解！」　ときには　「おしい！ヒントは･･･」と続きます。

そのうち、正解した子どもたちが次々にヒントを出していきます。

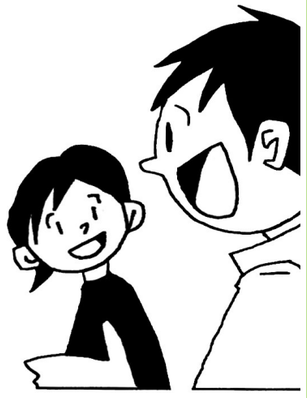
毎週金曜日は「なぞなぞの日」として多くの子どもたちが参加してくれています。正解するとオリジナルエゴノンシール（なんと職員室アシスタントの方の手作りです！）がゲットできます。

始めたきっかけは、私が毎朝子どもたちに向けて書いているメッセージを読んでほしいなと思ったことです。素通りしていく子どもたちにどうしたら足を止めてもらえるか？子どもたちの気持ちを瞬発的に集めること･･･なぞなぞだ！となったわけです。

ためしに何の予告もなしになぞなぞを１題出してみました。

「答えがわかった人は①ひとりで②ひそひそ声で③塚本先生に教えてね」の但し書きを添えて。

すると、確か中休みだったかと思いますが、ひとりの女の子がそーっとそばに来て、「なぞなぞの答えわかったよ！」とこっそり答えを言いに来てくれました。「Mさんが第1号だよ」と言ってエゴノンシールを渡したら、それはそれは喜んでくれました。



それからは、彼女の宣伝のおかげもあり、口コミで広がっていき、今は楽しみにしてくれている人がたくさんいます。そして、最初の目的だった、ホワイトボードのメッセージも読んでくれるようになりました。

また、当初は考えてもみなかったのですが、結果的に「なぞなぞの答えを聞く」ことで初めて話す子どもたちとプラスの関係からスタートできるという効果もありました。以前にもお伝えしたことがありますが、児童支援専任の私にとって、すべての子どもたちとつながっておくことがとても重要です。困ったことがあったときに、その子と私に良好な関係があれば、素直に自分の気持ちを話してくれることが多いからです。

「なぞなぞは金曜日」と知っているはずなのに、「今日はなぞなぞある？」と毎日聞いてくる人多数。楽しみにしてくれているのが私もうれしいです。なんと、私になぞなぞの本を貸してくれる人まで！ありがたいことです。

さあ、今週のなぞなぞは何にしようかな。

児童支援専任　塚本裕美